

救急・医療

応急手当

すり傷・切り傷

- 傷口を流水で洗い流し、消毒してから、傷口を圧迫するようにしてばんそうこうで止めましょう。
- 傷が大きかったり、血が止まらないときは、滅菌ガーゼなどで止血しながら病院へ行きましょう。

やけど

- 赤くなった程度なら、すぐに患部を流水で20～30分、ずきずきする傷みが和らぐまで冷やしましょう。
- やけどが広範囲のときはすぐに救急車を呼び、救急車が来るまで水風呂につけたり冷たいタオルで冷やしましょう。

発熱

- 熱があっても機嫌よく遊んでいるときや熱以外に異常がなければ安静にさせ、様子を見ましょう。
- 発熱が何日も続くときや発疹を伴うときは病院へ。長いひきつけは救急車を呼びましょう。

誤飲

- 誤飲したのによって応急処置方法は変わります。下の表で確認を！
- 呼吸困難や、毒物を飲んだときは救急車を呼びましょう。

対応目安表

飲み込んだもの	応急処置		受診		
	飲ませるもの	吐かせる			
たばこ(2cm以上は危険)、灰皿の水	× 何も飲ませない	吐かせる	救急車		
農薬・殺虫剤		× 吐かせない		救急車	
灯油・ベンジン・シンナー・ガソリン				至急	
マニキュア・除光液				至急	
ガラスの破片・針・ヘアピン				至急	
ボタン電池				至急	
漂白剤・かびとり剤			水○ 牛乳○		救急車
トイレ用洗剤・タイル用洗剤など				救急車	
医薬品		吐かせる			至急
香水・ヘアトニック					至急
芳香剤・消臭剤			至急		
ナフタリンなど防虫剤	水○ 牛乳×		救急車		



救急・医療

家の中のキケン

転落<ベランダ>

小さいこどもはベランダの柵のすきまをすり抜けて落ちてしまうことがあるので、ベランダに勝手に出ないように気を付けましょう。

また、踏み台になるようなものは置かないようにしましょう。



窒息<ベッド>

1歳になるまでは、ふとんやシーツ、枕、ジェル状の冷却シートなどに口や鼻がふさがれて窒息する事故を起こしやすいので、やわらか過ぎるふとんや枕にうつぶせ寝をさせたり、重いふとんを顔までかぶせないようにしましょう。

溺れる<お風呂>

お風呂場にはこどもが勝手に入れないように外に鍵を付けましょう。また、2歳になるまでは、お風呂に入ったあとは忘れずに水を抜いておきましょう。入浴中に浴槽用浮き輪を使っているときはこどもから目を離さないようにしましょう。



指をはさむ<ドア・窓>

こどもがちょうつがいの際間に手を入れているのを知らずにドアを閉めると大けがをします。市販の際間防止カバーを付けましょう。



打撲・切り傷<テーブル>

つかまり立ちやつたい歩きをする時期は、転んでテーブルや家具の角に頭や顔をぶつけてけがをすることがよくあります。テーブルや家具など室内で角になっているところにはクッション材を付けましょう。

やけど<ストーブ>

ストーブやファンヒーターのまわりは柵で囲み、こどもがそばに近づけないようにしましょう。電気ストーブなどは余分なコードを巻きとっておき、コンセントにはコンセントカバーを付けましょう。



誤飲<リビング>

こどもの手の届くところにタバコなどは置かないようにしましょう。危険性のある薬品類は必ず鍵のかかる場所に保管しましょう。おもちゃは口に入らない大きさのもので安全マークがついたものを基準に選びましょう。



転倒<浴室・洗面所>

浴室や洗面所の床は濡れて滑りやすくなっています。歯磨きをしているとき、口に歯ブラシをくわえたまま転倒すると危険なので、口にもものを入れているときには歩かないように気を付けましょう。



◀こども家庭庁関連リンク集



救急・医療

救急の時のメモ

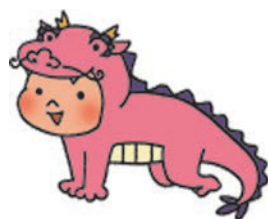
救急のときはまず落ち着いて以下の内容をゆっくり伝えましょう。

① 救急です



事前に
手順の確認を
しておきましょう

② 症状を伝えます



③ 住所(目印など)

氏名

電話番号

かかりつけ医



携帯電話からかける場合

携帯電話からかける場合は、位置を正確に伝えるため、よく分かる目標物(付近の交差点や通りの名前、店舗名)を告げるようにしましょう。

— 広 告 —

内 科
消化器内科



石塚内科クリニック

検査内容／経鼻内視鏡(胃カメラ)、大腸内視鏡(大腸カメラ)
動脈硬化検査(血管年齢)、腹部エコー
心エコー、大腸ポリープ切除(日帰りポリープ切除)
CT検査 など

〒520-2552 竜王町小口1658-1
竜王町役場前 フレンドタウン内

TEL.0748-58-0025



診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	●	●	/	●	●	●	/
13:30~16:00 (予約検査のみ)	▲	▲	/	▲	▲	▲	/
16:00~18:00	●	●	/	●	●	/	/



救急・医療

こどもの具合が悪くなったときに慌てることがないように、普段からかかりつけ医を見つけておきましょう。

竜王町内の医療機関

P11 MAP	名称	診療科	所在地／電話番号／FAX
⑧	あえんぼクリニック	内科 小児科 リハビリテーション外来	山之上5572 ☎57-0610 FAX:57-0652
⑨	弓削メディカル クリニック	内科 小児科 家庭医療	弓削1825 ☎57-1141 FAX:57-1130
⑩	どらごんクリニック	内科 小児科	須恵814-93 ☎58-2932 FAX:58-2933
⑪	石塚内科クリニック	内科 消化器内科	小口1658番地1 (フレンドタウン竜王内) ☎・FAX:58-0025
⑫	かりもと整形外科 クリニック	整形外科 リウマチ科 ペインクリニック外科 リハビリテーション科	小口1658番地1 (フレンドタウン竜王内) ☎28-1100 FAX:28-1101



救急・医療

こんな時の対処法 ① / 頭を強く打った!



意識がない場合は頭を高くして寝かせ、耳や鼻から血などの液体が出ている場合は出ている方を下にして寝かせます。

その後すぐに救急車を呼びましょう。

※他にも、吐く・顔色が悪い・普段はかかないいびきをかくなど、異変が見られる場合はすぐに病院へ連れて行きましょう。



P11 MAP	名称	診療科	所在地／電話番号／FAX
13	竜王町国民健康保険 診療所(歯科)	歯科	綾戸239-1 ☎57-1133 FAX:57-1244
14	加納歯科医院	歯科 歯科口腔外科	山面35-158 (美松台) ☎・FAX:58-2567
15	金谷歯科医院	歯科 小児歯科 矯正歯科 インプラント 審美治療 ホワイトニング 予防クリニック	山之上4599 ☎57-8287 FAX:57-8288
16	平田歯科医院	歯科 小児歯科 矯正歯科 バイオブロック矯正 (小児のがっこつ育成)	山之上3456 ☎57-0600 FAX:57-0665
17	コウ歯科クリニック	一般歯科 小児歯科 インプラント 歯科口腔外科 審美歯科 ホワイトニング 歯周病治療 訪問診療	小口1658-1 (フレンドタウン竜王内) ☎26-5588 FAX:26-5589



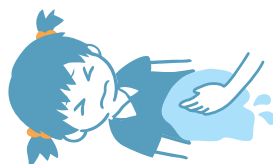
こんな時の対処法② / 胸やお腹を強く打った!



静かに寝かせて、様子を見ます。

打ち身やあざが出来た場合、冷たくしたタオルで患部を冷やしてあげましょう。

※顔色が悪い・吐くなどの異変が見られる場合、救急車を呼ぶか、すぐに病院へ連れて行きましょう。



近隣地域の医療施設（町外）

名称	所在地／電話番号
近江八幡市立総合医療センター	近江八幡市土田町1379 ☎0748-33-3151
東近江市蒲生医療センター	東近江市桜川西町340 ☎0748-55-1175
医療法人社団昂会 日野記念病院	日野町上野田200-1 ☎0748-53-1201
特定医療法人社団御上会 野洲病院	野州市小篠原1094 ☎077-587-1332

※診療科目が変更になる場合がありますので、あらかじめご確認ください。

休日急患診療所

名称	診療科	所在地／電話番号
近江八幡休日急患診療所	内科 小児科 外科	近江八幡市出町381 ☎0748-33-9311
東近江休日急患診療所	内科 小児科 外科	東近江市中小路町483-4 (国立病院機構東近江総合医療センター敷地内) ☎0748-23-5020



こんな時の対処法 ③ / 鼻血が出た！



血液を飲み込まないように**仰向けにせず**、座らせたまま軽く下を向かせます。その体勢のまま小鼻の上の方をつまみ、5分～10分圧迫します。ティッシュを詰めると鼻の中の血管を傷つけてしまうことがあるので、詰め物をする場合はやわらかい脱脂綿を使いましょう。

※20分以上血が止まらない場合や、出血がひどい場合は病院へ連れて行きましょう。



救急医療案内

東近江行政組合 ☎0748-23-3799

※夜間や早朝など診療時間外で受診できる医療機関などを紹介しています。

小児救急電話相談

短縮ダイヤル
#8000番

相談日時	平日・土	18:00～翌朝8:00
	日・祝	9:00～翌朝8:00

または

077-524-7856

※休日や夜間の急なけがや病気で病院へ行った方がよいか判断に迷ったとき、小児科医師・看護師がアドバイスします。

※携帯電話からでも短縮ダイヤルが利用できます。

(財)日本中毒情報センター
中毒110番

大阪:072-727-2499(365日24時間対応)
つくば:029-852-9999(365日9:00～21:00対応)

※焦らずに誤飲したものを手に持って、こどもの年齢や体重、異物の正確な名称、飲んだ量をお伝えください。(ただし、硬貨などの誤飲、食中毒、カビの生えた食品などについての相談には応じていません。)

たばこ誤飲事故専用電話
(自動音声応答方式)

072-726-9922(365日24時間対応)



救急・医療